



要請内容 高等学校において情報の授業が始まったが教師の知識・技能不足で教科書をそのまま教えている状況である。 しかし、実際には高等学校での授業をするには十分な知識・技能があった。





その後の目標 生徒への直接指導を通して ・ 学習効率の向上(教材作成) ・ 学習方法の指導(予習・復習) ・ その他(整理整頓) 注意事項 ・ 既存の道具をできるだけ活用する。 ・ 教科書、モニターなど。 ・ 勤務校の実情 ・ Preparatory School での一般教養としての情報教育

現職教員として

- ■日本の教育現場と途上国における教育 現場を比較する事ができる。
- ▶日本で多岐にわたる仕事をしている。
 - ■分掌部、クラス担任、部活動
- ■日本での人脈を持っている。
 - ■対教師、対生徒

ひけつ

- ■無理をしすぎない。考えすぎない。
- ■健康に留意。
- ■任地でもできる趣味を。
- ■任国、任地、そこの人々を好きになる。